

ハッピー&スマイル 9号

発行者
社会福祉法人楽寿会
特別養護老人ホーム楽寿荘
四倉町上仁井田字横川67
Tel (0246)32-6381



お花見



暖かな日差しでの降り注ぐ四月十一日(金)フラワーセンターにて、お花見が行なわれました。
今回は外出を希望された、体調の良い利用者の方、ご家族、職員の総勢五十二名、大所帯でのお花見です。移動する車の中からも、満開の桜があちらこちらに見られ、何度もう「綺麗だね」との言葉が聞かれました。



鯉のぼり

五月の節句に合わせて各棟の食堂には、大きい真鯉と緋鯉、小さい子供鯉達がテーブルや天井、壁にかざられてました。利用者の視線をいっぱい浴びて元気に泳いでいるようです。



「こいのぼりと一緒に♪」

フラワーセンターに到着後は、お茶を飲んでひと休み。その後自由に各職員やご家族と好きなルートでのお花見散歩を楽しみました。
散歩後のお昼はみんなで一緒に、彩り鮮やかなお花見弁当。今回のメニューは、赤飯・豚汁・金目鯛の煮つけ・がんも煮物・ホウレン草のピーナツ和え・厚焼き卵・いちごでした。



「笑顔きまっています♪」

子供の日

五月五日の「こどもの日」昼食メニューは『鯉いくら丼』でした。お節句らしい華やかな食事に皆さんの昔話もはまりました。「しょうぶ湯にはいったな」と

ある朝の事、利用者の方が「おはよう」と大きな鯉のぼりに挨拶をすると、窓から入った一陣の風が、大きな鯉のぼりを優雅に舞わせました。その姿はまるで挨拶に答えるかのように、「あら、挨拶してくれました」と、とても喜ばれる姿が見られました。



お花見弁当について厨房さんよりコメントです。
『色とりどりの花をイメージしながら皆さんの好きなメニューを取り入れ、真心を込めて春らしいお弁当に仕上げてみました♪』
又楽寿荘に残った方々も、同じお弁当をいただきながら、荘内に飾られた花々や、窓から見える満開の桜を楽しみました。
又来年も一緒にお花見を楽しみましょうね。



話す利用者の方は、邪気を払うといわれるしょうぶやよもぎを、家の軒下につるし、又しょうぶをお湯に入れ、体の悪い気を流すと言う意味でしょうぶ湯に入ったりと、教えてくださいました。
おいしい食事を食べ、皆さんの元気な笑顔を見る事ができ、今年も一年元気に過ごせそうですね。



「楽寿荘毎年恒例武者人形と」



「お手製兜♪」

デイお花見

楽寿荘を囲むたくさんの桜が満開になった四月の初旬、デイサービスを利用していらっしゃる利用者さんと共にお花見をしながらの散歩をしました。
春の風はまだ冷たく感じられましたが、職員と一緒に桜の下まで行くとあたたかい笑顔になり春の一日を満喫しました。



「全員で記念撮影」



「ご夫婦一緒に♪」

御神輿

風薫る澄み切った青空に、心も晴れ晴れとする晴天に恵まれた五月四日、諏訪神社の春の例大祭が行われ、恒例の神輿が今年も楽寿荘にやってきました。
楽寿荘前の広場に集まった入所者の皆さんは獅子神楽に頭を、パクツとしてもらい、厄を払い、今年も一年無病息災のお祈りし、手を合わせておりました。
自分の心をのせ、神に捧げると



「楽寿荘の桜も綺麗でした」



楽寿会ホームページはこちらから



<http://www.rakujukai.com>



「わっしょい♪わっしょい♪」



「御年99歳今年も健康でありますように」



「ポーズきまっています」

いう意味がこめられた玉串奉奠は、入所者の代表の方が二名慎ましかに、前に捧げました。
続いて、子供神輿が『ワッショイ、ワッショイ』と元気に渡御すると、入所者の皆さんからも「ワッショイ」と元気な声も聞かれ、あちらこちらからお賽銭も投げられ、明るい日差しの中、麦わら帽子をかぶった入所者の皆さんのにこやかな笑顔が見られました。

